

南島原市立小学校  
適正規模・適正配置  
実行計画



平成 24 年 8 月 9 日

南島原市教育委員会

はじめに

南島原市教育委員会では、少子化等による児童生徒数の減少に伴い、小学校の統廃合を含め、子どもたちにとってより望ましい教育環境の整備を図るため、平成22年9月に『南島原市立小学校適正規模・適正配置事業基本方針（以下「基本方針」という。）』を策定しました。

基本方針では、子どもたちの教育環境や教育活動の現状、学校の規模によるメリット・デメリット、さらには地域社会における学校の存在意義等を踏まえた上で、より良い教育環境を構築し提供するという立場から、小学校の適正規模・適正配置の基本的な在り方を定めています。

また、市内を旧町単位の8ブロックに区分して、今後の小学校統合及び分校の本校併合に関する方針を示しており、適正規模・適正配置化の第一段階として、現存する複式学級の解消及び分校の本校併合を平成28年度までに完了することとしています。

市教育委員会では、その基本方針を柱にして、小学校の適正規模・適正配置化を学校、保護者及び地域と共に進めていくため、これまでに口之津地区と北有馬地区を除く全ての小学校においては、基本方針の説明会と保護者アンケート調査を実施するとともに、アンケート調査の結果等を基にして編成した「南島原市立小学校の統合計画（骨子案）」についても、学校別に説明を行ってきました。

この『南島原市立小学校適正規模・適正配置実行計画（以下「実行計画」という。）』は、基本方針はもとより、これまでに実施したアンケート調査の結果や学校統合説明会における意見・要望等を総合的に勘案し、本市の小学校適正規模・適正配置化の第一段階となる平成29年度までの“小学校統合及び分校の本校併合”の実行方針とその具体的な進め方をまとめたものです。

今後は、この実行計画にまとめられたさまざまな事務事業や活動を計画的に推し進めるため、関係者の理解を得ながら実行計画の目標達成を目指します。

# 目 次

(頁)

第1 学校の現状	1
1 小学校の現状	1
(1) 学校数と児童数	1
(2) 学級数と複式学級数	1
(3) 児童数の推移	2
2 ブロック別小学校の現状	3
(1) 児童数と学級数	3
(2) 教職員の配置状況	10
第2 適正規模・適正配置の実行方針	11
1 全体的な実行方針	11
(1) 複式学級の解消	11
(2) 分校の本校併合	11
(3) 実行計画の目標年度	11
(4) 実行計画の数値目標	11
2 ブロック別の実行方針	11
(1) 加津佐ブロック	12
(2) 南有馬ブロック	13
(3) 西有家ブロック	14
(4) 有家ブロック	15
(5) 布津ブロック	16
(6) 深江ブロック	17
第3 適正規模・適正配置の進め方	18
1 組織等の設置	18
(1) ブロック別学校統合準備委員会の設置	18
(2) 閉校準備協議会の設置	18
2 学校統合に関する共通事項	18
(1) 統合における学校名等	18
(2) 拠点校の施設整備	18
(3) 通学手段の整備	18
(4) 事前交流事業の実施	19
(5) 学校活動・伝統行事の継承	19
(6) 教職員の配置	19
(7) 廃校跡地の利活用	19
3 ブロック別学校統合実施計画の策定	19
(1) 計画の必要性	19
(2) 計画の内容	19

## <資料>

資料1. 小学校統合の流れ

資料2. 平成29年4月1日時点の学校数、児童数及び学級数

資料3. 小学校の位置

資料4. 小学校の通学区域

# 第1 学校の現状

## 1 小学校の現状

### (1) 学校数と児童数

平成24年度の南島原市立小学校は31校（うち分校6校）であり、全校で2,550人の児童が学んでいる。

#### ①平成24年度の児童数(ブロック別)

区 分	児童数	学 校 名
加津佐ブロック	295人	加津佐東小、野田小、津波見小、山口小
口之津ブロック	237人	口之津小
南有馬ブロック	220人	南有馬小、吉川小、白木野小、古園小、梅谷小
北有馬ブロック	221人	有馬小
西有家ブロック	416人	西有家小、龍石小、慈恩寺小、長野小、長野小塔ノ坂分校、見岳小
有家ブロック	457人	有家小、蒲河小、新切小、堂崎小、堂崎小木場分校
布津ブロック	229人	布津小、布津小第一分校、布津小第二分校、飯野小
深江ブロック	475人	深江小、深江小馬場分校、深江小諏訪分校、小林小、大野木場小
計	2,550人	全31校（うち分校6校）

注) 学校名の“小”とは「小学校」と読み替える。以下、これに同じ。

#### ②平成24年度の学年別児童数(ブロック別)

区 分	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計
加津佐ブロック	41人	51人	45人	46人	55人	57人	295人
口之津ブロック	35人	38人	39人	46人	47人	32人	237人
南有馬ブロック	34人	31人	31人	42人	39人	43人	220人
北有馬ブロック	37人	29人	36人	30人	36人	53人	221人
西有家ブロック	74人	68人	56人	63人	79人	76人	416人
有家ブロック	72人	70人	62人	95人	72人	86人	457人
布津ブロック	37人	35人	32人	35人	43人	47人	229人
深江ブロック	66人	82人	73人	95人	74人	85人	475人
計	396人	404人	374人	452人	445人	479人	2,550人

### (2) 学級数と複式学級数

小学校の平成24年度の全学級数(普通学級)は151学級であるが、その内の29学級(19.2%)は複式学級であり、小学校31校のうち16校が複式学級を有している。

なお、各小学校の学級数(普通学級)及び学年編制については、『第1の2の(1)児童数と学級数』で示している。

#### ○ブロック別学級数(普通学級)及び複式学級数

区 分	学級数	うち複式学級	複式学級を有する小学校
加津佐ブロック	19学級	6学級	津波見小、山口小
口之津ブロック	10学級	0学級	
南有馬ブロック	22学級	8学級	吉川小、白木野小、古園小、梅谷小
北有馬ブロック	8学級	0学級	
西有家ブロック	27学級	10学級	龍石小、慈恩寺小、長野小、長野小塔ノ坂分校、見岳小
有家ブロック	27学級	3学級	新切小、堂崎小、堂崎小木場分校
布津ブロック	15学級	2学級	布津小第一分校、布津小第二分校
深江ブロック	23学級	0学級	
計	151学級	29学級	

(3) 児童数の推移

小学校の平成 20 年度の全児童数は“2,927 人”であったが、24 年度までの 5 年間で 377 人の減少(12.9%減)となっている。

また、平成 29 年度の児童数は“2,216 人”となり、今後の 5 年間で 334 人の減少(13.1%減)が見込まれる。

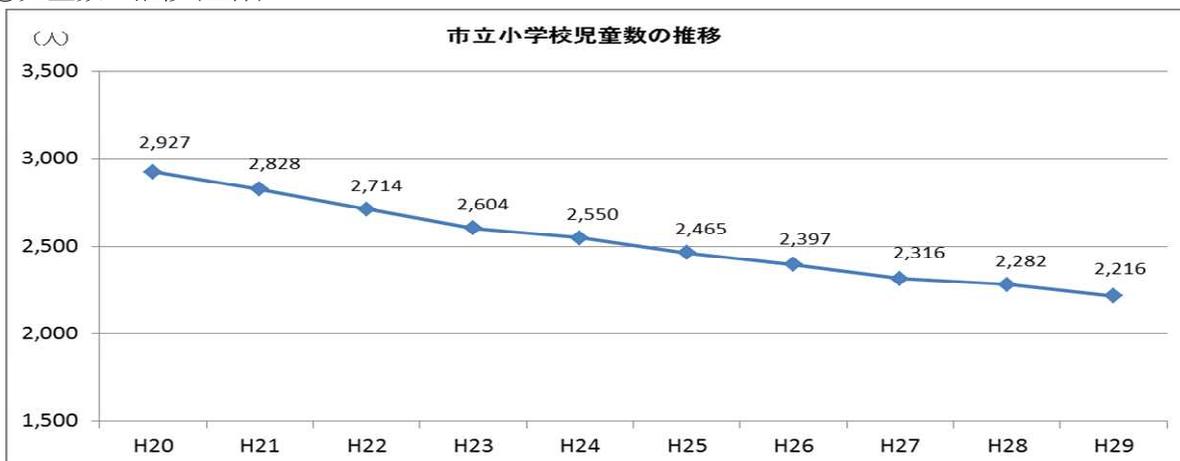
①ブロック別児童数の推移

(単位：人)

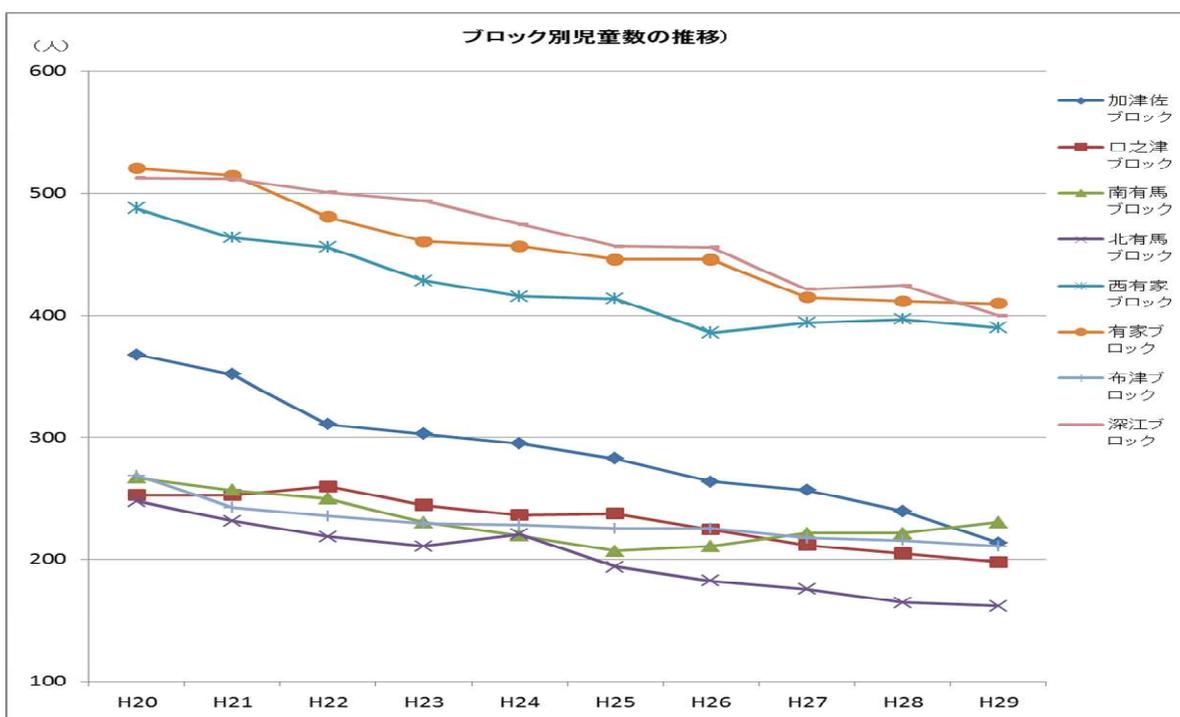
区 分	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
加津佐ブロック	368	352	311	303	295	283	264	257	240	214
口之津ブロック	253	253	260	245	237	238	225	212	205	198
南有馬ブロック	267	257	250	231	220	207	211	222	222	231
北有馬ブロック	248	232	219	211	221	194	183	176	165	162
西有家ブロック	488	464	456	429	416	414	386	394	397	390
有家ブロック	521	515	481	461	457	446	446	415	412	410
布津ブロック	269	243	236	230	229	226	226	218	216	211
深江ブロック	513	512	501	494	475	457	456	422	425	400
計	2,927	2,828	2,714	2,604	2,550	2,465	2,397	2,316	2,282	2,216

注) 平成 25 年度以降は、南島原市在住の年齢ごとの就学前児童数を単純加算している。

②児童数の推移(全体)



③児童数の推移(ブロック別)



## 2 ブロック別小学校の現状

### (1) 児童数と学級数

各小学校の現状と今後の推移を把握するため、平成29年度までの各小学校の児童数(学年別)と学級編制(普通学級)をブロック別に示す。

なお、各小学校の平成25年度以降の児童数は、各小学校の通学区域に在住する年齢ごとの就学前児童数を単純加算している。

#### ア 加津佐ブロックの児童数と学級数

加津佐ブロックにおいては、加津佐東小学校と野田小学校は複式学級を有していないが、津波見小学校と山口小学校は完全複式学級を有する極小規模校となっており、この両校は、今後も少人数の学級編制が続くことになる。

##### ①加津佐東小学校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	25	34	26	31	30	39	185	1	1	1	1	1	2	7
H25	31	25	34	26	31	30	177	2	1	1	1	1	1	7
H26	18	31	25	34	26	31	165	1	1	1	1	1	1	6
H27	23	18	31	25	34	26	157	1	1	1	1	1	1	6
H28	14	23	18	31	25	34	145	1	1	1	1	1	1	6
H29	13	14	23	18	31	25	124	1	1	1	1	1	1	6

##### ②野田小学校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	10	12	15	13	19	14	83	1	1	1	1	1	1	6
H25	12	10	12	15	13	19	81	1	1	1	1	1	1	6
H26	17	12	10	12	15	13	79	1	1	1	1	1	1	6
H27	15	17	12	10	12	15	81	1	1	1	1	1	1	6
H28	12	15	17	12	10	12	78	1	1	1	1	1	1	6
H29	9	12	15	17	12	10	75	1	1	1	1	1	1	6

##### ③津波見小学校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	2	4	2	1	4	2	15	1		1		1		3
H25	1	2	4	2	1	4	14	1		1		1		3
H26	0	1	2	4	2	1	10		1	1		1		3
H27	0	0	1	2	4	2	9			1		1		2
H28	1	0	0	1	2	4	8		1			1		2
H29	0	1	0	0	1	2	4		1			1		2

##### ④山口小学校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	4	1	2	1	2	2	12	1		1		1		3
H25	1	4	1	2	1	2	11	1		1		1		3
H26	1	1	4	1	2	1	10	1		1		1		3
H27	1	1	1	4	1	2	10	1		1		1		3
H28	1	1	1	1	4	1	9	1		1		1		3
H29	3	1	1	1	1	4	11	1		1		1		3

イ 口之津ブロックの児童数と学級数

口之津ブロックについては、旧口之津町において、平成17年3月に口之津第一小学校、口之津第二小学校及び口之津第三小学校の統合がなされており、児童数は減少傾向にあるものの、平成29年度までは複式学級を有することはない。

○口之津小学校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	35	38	39	46	47	32	237	2	2	1	2	2	1	10
H25	33	35	38	39	46	47	238	2	1	1	1	2	2	9
H26	34	33	35	38	39	46	225	2	1	1	1	1	2	8
H27	33	34	33	35	38	39	212	2	1	1	1	1	2	8
H28	32	33	34	33	35	38	205	2	1	1	1	1	2	8
H29	31	32	33	34	33	35	198	2	1	1	1	1	1	7

ウ 南有馬ブロックの児童数と学級数

南有馬ブロックにおいては、南有馬小学校は複式学級を有していないが、他の4校は複式学級を有する極小規模校となっている。

また、古園小学校については今後児童数の増加が見込まれるが、古園小学校を含め、吉川小学校、白木野小学校及び梅谷小学校の4校は今後も複式学級編制となり、特に梅谷小学校は少人数の学級編制が続くことになる。

①南有馬小学校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	12	10	12	20	14	15	83	1	1	1	1	1	1	6
H25	11	12	10	12	20	14	79	1	1	1	1	1	1	6
H26	14	11	12	10	12	20	79	1	1	1	1	1	1	6
H27	28	14	11	12	10	12	87	1	1	1	1	1	1	6
H28	9	28	14	11	12	10	84	1	1	1	1	1	1	6
H29	16	9	28	14	11	12	90	1	1	1	1	1	1	6

②吉川小学校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	7	6	9	12	9	10	53	1		1	1	1	1	5
H25	7	7	6	9	12	9	50	1	1		1	1	1	5
H26	9	7	7	6	9	12	50	1		1		1	1	4
H27	8	9	7	7	6	9	46	1	1		1		1	4
H28	8	8	9	7	7	6	45	1	1		1		1	4
H29	4	8	8	9	7	7	43	1		1		1	1	4

③白木野小学校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	6	8	5	7	4	5	35	1	1		1		1	4
H25	4	6	8	5	7	4	34	1	1		1		1	4
H26	8	4	6	8	5	7	38	1	1		1		1	4
H27	6	8	4	6	8	5	37	1	1		1		1	4
H28	3	6	8	4	6	8	35	1	1		1		1	4
H29	8	3	6	8	4	6	35	1	1		1		1	4

## ④古園小学校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	7	6	4	2	9	9	37	1	1		1		1	4
H25	6	7	6	4	2	9	34	1	1	1			1	4
H26	12	6	7	6	4	2	37	1	1	1			1	4
H27	9	12	6	7	6	4	44	1	1	1			1	4
H28	9	9	12	6	7	6	49	1	1	1	1		1	5
H29	9	9	9	12	6	7	52	1	1	1	1		1	5

## ⑤梅谷小学校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	2	1	1	1	3	4	12	1		1			1	3
H25	2	2	1	1	1	3	10	1		1			1	3
H26	0	2	2	1	1	1	7		1	1			1	3
H27	2	0	2	2	1	1	8	1		1			1	3
H28	2	2	0	2	2	1	9	1			1		1	3
H29	3	2	2	0	2	2	11	1	1				1	3

## エ 北有馬ブロックの児童数と学級数

北有馬ブロックについては、旧北有馬町において、平成16年3月に北有馬小学校、田平小学校、西正寺小学校及び坂下小学校の統合がなされており、児童数は減少傾向にあるものの、平成29年度までは複式学級を有することはない。

## ○有馬小学校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	37	29	36	30	36	53	221	2	1	1	1	1	2	8
H25	26	37	29	36	30	36	194	1	2	1	1	1	2	8
H26	25	26	37	29	36	30	183	1	1	1	1	1	1	6
H27	23	25	26	37	29	36	176	1	1	1	1	1	2	7
H28	25	23	25	26	37	29	165	1	1	1	1	1	1	6
H29	26	25	23	25	26	37	162	1	1	1	1	1	2	7

## オ 西有家ブロックの児童数と学級数

西有家ブロックにおいては、西有家小学校は複式学級を有していないが、他の5校は複式学級を有する極小規模校となっており、今後も少人数の複式学級編制が続くことになる。

特に、長野小学校塔ノ坂分校は、全学年制の学校でありながら、平成24年度的全児童数が4人という極めて深刻な状況にある。

## ①西有家小学校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	47	47	31	36	47	42	250	2	2	1	1	2	2	10
H25	41	47	47	31	36	47	249	2	2	2	1	1	2	10
H26	32	41	47	47	31	36	234	2	2	2	2	1	2	11
H27	42	32	41	47	47	31	240	2	1	2	2	2	1	10
H28	39	42	32	41	47	47	248	2	2	1	2	2	2	11
H29	35	39	42	32	41	47	236	2	2	2	1	2	2	11

## ②龍石小学校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	10	6	11	3	9	7	46	1	1	1		1		4
H25	7	10	6	11	3	9	46	1	1		1		1	4
H26	4	7	10	6	11	3	41	1	1	1		1		4
H27	8	4	7	10	6	11	46	1	1		1		1	4
H28	10	8	4	7	10	6	45	1	1	1		1		4
H29	3	10	8	4	7	10	42	1	1	1		1	1	5

## ③慈恩寺小学校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	3	1	3	8	8	5	28	1		1		1		3
H25	7	3	1	3	8	8	30	1	1	1		1		4
H26	5	7	3	1	3	8	27	1	1	1		1		4
H27	8	5	7	3	1	3	27	1	1	1		1		4
H28	2	8	5	7	3	1	26	1	1	1		1		4
H29	8	2	8	5	7	3	33	1	1	1		1		4

## ④長野小学校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	8	7	4	7	9	13	48	1	1		1		1	4
H25	12	8	7	4	7	9	47	1	1	1		1		4
H26	5	12	8	7	4	7	43	1	1	1		1		4
H27	7	5	12	8	7	4	43	1	1	1	1	1		5
H28	3	7	5	12	8	7	42	1	1		1		1	4
H29	8	3	7	5	12	8	43	1	1	1		1	1	5

## ⑤長野小学校塔ノ坂分校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	0	0	0	2	1	1	4				1		1	2
H25	0	0	0	0	2	1	3						1	1
H26	0	0	0	0	0	2	2						1	1
H27	1	0	0	0	0	0	1	1						1
H28	0	1	0	0	0	0	1		1					1
H29	0	0	1	0	0	0	1			1				1

## ⑥見岳小学校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	6	7	7	7	5	8	40	1	1	1		1		4
H25	7	6	7	7	7	5	39	1	1	1		1		4
H26	5	7	6	7	7	7	39	1	1	1		1		4
H27	5	5	7	6	7	7	37	1	1	1		1		4
H28	5	5	5	7	6	7	35	1	1	1		1		4
H29	7	5	5	5	7	6	35	1	1	1		1		4

カ 有家ブロックの児童数と学級数

有家ブロックにおいては、有家小学校と蒲河小学校を除く他の3校は複式学級を有しており、平成25年度からは蒲河小学校も複式学級編制になる。

また、堂崎小学校は、今後複式学級を有しない年度が見られるが、他の小学校と同様に児童数は減少傾向にある。

なお、有家小学校については、今後の5年間は現在の児童数が維持されると見込まれる。

①有家小学校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	47	35	35	46	24	41	228	2	1	1	2	1	2	9
H25	36	47	35	35	46	24	223	2	2	1	1	2	1	9
H26	42	36	47	35	35	46	241	2	2	2	1	1	2	10
H27	34	42	36	47	35	35	229	2	2	1	2	1	1	9
H28	35	34	42	36	47	35	229	2	1	2	1	2	1	9
H29	32	35	34	42	36	47	226	2	1	1	2	1	2	9

②蒲河小学校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	6	9	11	9	13	7	55	1	1	1	1	1	1	6
H25	9	6	9	11	9	13	57	1	1	1	1	1	1	5
H26	8	9	6	9	11	9	52	1	1	1	1	1	1	5
H27	8	8	9	6	9	11	51	1	1	1	1	1	1	5
H28	5	8	8	9	6	9	45	1	1	1	1	1	1	4
H29	5	5	8	8	9	6	41	1	1	1	1	1	1	4

③新切小学校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	11	9	5	15	12	15	67	1	1	1	1	1	1	5
H25	7	11	9	5	15	12	59	1	1	1	1	1	1	5
H26	7	7	11	9	5	15	54	1	1	1	1	1	1	5
H27	9	7	7	11	9	5	48	1	1	1	1	1	1	4
H28	5	9	7	7	11	9	48	1	1	1	1	1	1	5
H29	10	5	9	7	7	11	49	1	1	1	1	1	1	4

④堂崎小学校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	6	11	2	25	23	23	90	1	1	1	1	1	1	5
H25	12	6	11	11	25	23	88	1	1	1	1	1	1	6
H26	13	12	6	17	11	25	84	1	1	1	1	1	1	6
H27	7	13	12	8	17	11	68	1	1	1	1	1	1	6
H28	8	7	13	23	8	17	76	1	1	1	1	1	1	6
H29	15	8	7	15	23	8	76	1	1	1	1	1	1	5

⑤堂崎小学校木場分校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	2	6	9	/			17	1	1	/				2
H25	11	2	6				19	1	1					2
H26	2	11	2				15	1	1					2
H27	6	2	11				19	1	1					2
H28	6	6	2				14	1	1					2
H29	6	6	6				18	1	1					2

キ 布津ブロックの児童数と学級数

布津ブロックにおいては、布津小学校と飯野小学校は複式学級を有していないが、他の2分校は複式学級を有する極小規模校となっている。

また、平成26年度からは飯野小学校も複式学級を有することになり、今後の児童数の減少が懸念されるところである。

①布津小学校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	18	13	15	25	23	35	129	1	1	1	1	1	1	6
H25	26	18	16	23	25	23	131	1	1	1	1	1	1	6
H26	18	26	23	20	23	25	135	1	1	1	1	1	1	6
H27	12	18	32	31	20	23	136	1	1	1	1	1	1	6
H28	20	12	22	35	31	20	140	1	1	1	1	1	1	6
H29	13	20	18	31	35	31	148	1	1	1	1	1	1	6

②布津小学校第一分校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	8	4	8	/			20	1	1	/				2
H25	3	8	4				15	1	1					2
H26	9	3	8				20	1	1					2
H27	3	9	3				15	1	1					2
H28	3	3	9				15	1	1					2
H29	4	3	3				10	1	1					2

③布津小学校第二分校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	5	3	/			8	1	/				1		
H25	6	5				11	1					1	2	
H26	4	6				10	1					1	2	
H27	6	4				10	1					1	2	
H28	2	6				8	1					1	1	
H29	3	2				5	1					1	1	

## ④飯野小学校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	6	15	9	10	20	12	72	1	1	1	1	1	1	6
H25	9	6	15	9	10	20	69	1	1	1	1	1	1	6
H26	12	9	6	15	9	10	61	1		1	1	1	1	5
H27	6	12	9	6	15	9	57	1	1		1	1	1	5
H28	5	6	12	9	6	15	53	1	1	1		1	1	5
H29	10	5	6	12	9	6	48	1		1	1		1	4

## ク 深江ブロックの児童数と学級数

深江ブロックにおいては、全ての学校で複式学級は有しておらず、今後の5年間においても複式学級を有することはない。

なお、大野木場小学校については一定の児童数が維持されるが、深江ブロック全体としては、今後も児童数の減少が続くことになる。

## ①深江小学校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	17	31	33	62	33	42	218	1	1	1	2	1	2	8
H25	11	21	49	33	62	33	209	1	1	2	1	2	1	8
H26	12	17	34	49	33	62	207	1	1	1	2	1	2	8
H27	13	18	29	34	49	33	176	1	1	1	1	2	1	7
H28	14	19	36	29	34	49	181	1	1	1	1	1	2	7
H29	9	19	37	36	29	34	164	1	1	1	1	1	1	6

## ②深江小学校馬場分校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	13	18	/				31	1	1	/				2
H25	12	13					25	1	1					2
H26	18	12					30	1	1					2
H27	18	18					36	1	1					2
H28	13	18					31	1	1					2
H29	15	13					28	1	1					2

## ③深江小学校諏訪分校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	4	/				4	1	/				1		
H25	6					6	1					1		
H26	6					6	1					1		
H27	6					6	1					1		
H28	5					5	1					1		
H29	6					6	1					1		

④小林小学校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	11	23	17	17	17	24	109	1	1	1	1	1	1	6
H25	16	11	23	17	17	17	101	1	1	1	1	1	1	6
H26	16	16	11	23	17	17	100	1	1	1	1	1	1	6
H27	12	16	16	11	23	17	95	1	1	1	1	1	1	6
H28	16	12	16	16	11	23	94	1	1	1	1	1	1	6
H29	10	16	12	16	16	11	81	1	1	1	1	1	1	6

⑤大野木場小学校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H24	21	10	23	16	24	19	113	1	1	1	1	1	1	6
H25	22	21	10	23	16	24	116	1	1	1	1	1	1	6
H26	21	22	21	10	23	16	113	1	1	1	1	1	1	6
H27	12	21	22	21	10	23	109	1	1	1	1	1	1	6
H28	28	12	21	22	21	10	114	1	1	1	1	1	1	6
H29	17	28	12	21	22	21	121	1	1	1	1	1	1	6

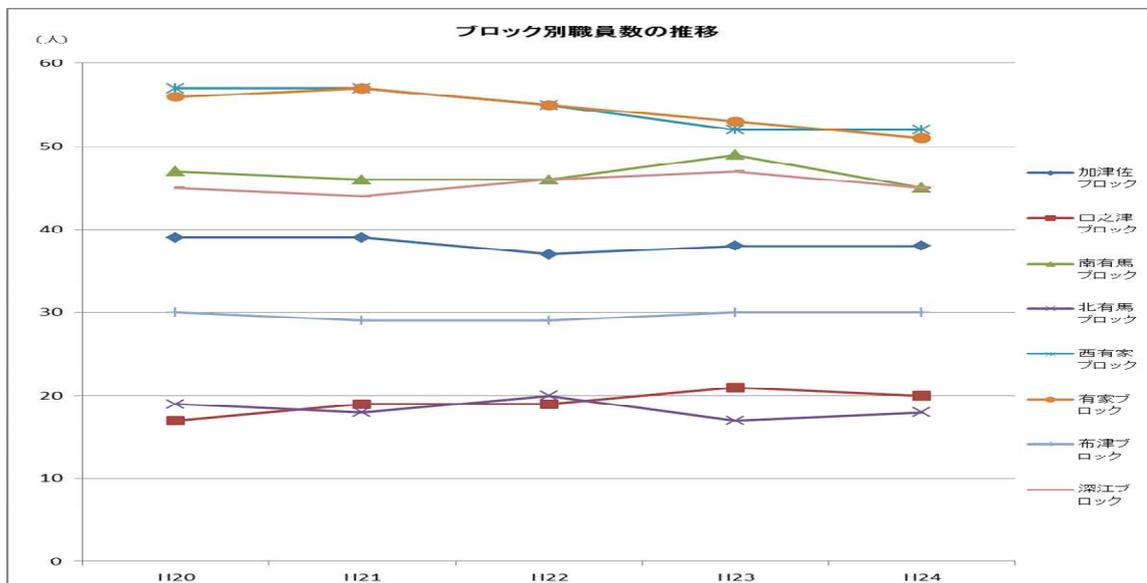
(2) 教職員の配置状況

小学校の教職員数は、平成20年度は310人であったが、24年度では299人となっている。

○ブロック別教職員数

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度
加津佐ブロック(4校)	39人	39人	37人	38人	38人
口之津ブロック(1校)	17人	19人	19人	21人	20人
南有馬ブロック(5校)	47人	46人	46人	49人	45人
北有馬ブロック(1校)	19人	18人	20人	17人	18人
西有家ブロック(6校)	57人	57人	55人	52人	52人
有家ブロック(5校)	56人	57人	55人	53人	51人
布津ブロック(4校)	30人	29人	29人	30人	30人
深江ブロック(5校)	45人	44人	46人	47人	45人
合計(31校)	310人	309人	307人	307人	299人

注) 教職員とは、校長、教頭、教諭等、養護、事務及び栄養の県費負担教職員である。



## 第2 適正規模・適正配置の実行方針

### 1 全体的な実行方針

南島原市立小学校適正規模・適正配置事業基本方針（以下「基本方針」という。）に基づき、南島原市立小学校適正規模・適正配置実行計画（以下「実行計画」という。）における“小学校統合及び分校の本校併合”の全体的な実行方針を次のとおり定める。

#### (1) 複式学級の解消

平成24年度において、南島原市立小学校は31校（分校を含む。）があるが、その内の16校は複式学級を有しており、それらの多くは児童数が50人を下回る極小規模校である。

また、学級数で見ると、全小学校で151学級ある普通学級の内、その約2割に当たる29学級が複式学級となっている。

このような状況から、本市の適正規模・適正配置化の第一段階として、現存する複式学級の解消を早急かつ計画的に進め、小学校児童の学校生活における教育環境面の平準化を図るものとする。

特に、複式学級の現存数が多い「加津佐ブロック」、「南有馬ブロック」、「西有家ブロック」については、子どもたちの将来を見据えた統合形態により、早めの時期の学校統合を図るものとする。

#### (2) 分校の本校併合

市立小学校31校の内の6校は分校であるが、深江小学校馬場分校を除く5分校は、児童数が20人を下回る少人数の学校である。

特に、長野小学校塔ノ坂分校は、全学年制の学校でありながら、平成25年度の児童数が3人になるという極めて深刻な状況にある。

このような状況から、小学校児童の学校生活における教育環境面の平準化はもとより、学力、スポーツ力、集団生活能力の向上など、子どもたちの将来を最優先に考え、保護者や地域の理解と協力を得ながら、分校の本校併合を計画的に進めるものとする。

#### (3) 実行計画の目標年度

実行計画の目標年度を平成29年度と定め、本市の適正規模・適正配置化の第一段階としての事業や取組を着実に実行していくものとする。

#### (4) 実行計画の数値目標

実行計画の目標年度である平成29年度の市立小学校の教育体制を示すため、実行計画の“数値目標”を次のとおり設定する。

##### ○数値目標

指 標 名	平成24年4月1日現在	平成29年4月1日時点
市立小学校の数(分校を含む)	31校	13校
市立小学校分校の数	6校	0校
市立小学校の学級数(普通学級)	151学級	95学級
市立小学校の複式学級数	29学級	2学級

### 2 ブロック別の実行方針

基本方針を柱として、学校の現状や子どもたちの将来を考察するとともに、学校、保護者及び地域の意見・要望等を総合的に勘案し、本市の“小学校統合及び分校の本校併合”のブロック別の実行方針を次のとおり定める。

なお、口之津ブロックと北有馬ブロックについては、それぞれ平成17年3月と平成16年3月に統合が完了しているため、この実行計画の対象としない。

(1) 加津佐ブロック

加津佐ブロックの小学校は、加津佐東小学校、野田小学校、津波見小学校及び山口小学校の4校である。

平成24年度において、加津佐東小学校と野田小学校は複式学級を有しておらず、29年度までの児童数においても、この両校は複式学級を有することはない。

一方、津波見小学校と山口小学校は、両校とも完全複式学級を有する児童数が15人以下の極小規模校であり、平成29年度の児童数は津波見小学校が4人、山口小学校が11人まで減少すると見込まれる。

また、加津佐ブロック全体の児童数を見ると、平成24年度の児童数は“295人”であるが、29年度の児童数は“214人”となっており、今後の5年間で81人の減少(27.5%減)が見込まれる。

このような状況から、加津佐ブロックにおいては、「4校統合」が理想的な統合形態であると判断されるところである。

しかしながら、野田小学校については、今後の5年間に於いて複式学級を有することはないと見込みであり、平成29年度の児童数も“75人”と一定の児童数は維持される見込みであり、これまでの学校統合説明会等における学校、保護者及び地域の意向を考察・考慮した場合、実行計画の目標年度までに統合すべき必要性と緊急性は低いと判断される。

よって、これらの実状を総合的に勘案し、加津佐ブロックにおいては、加津佐東小学校に津波見小学校と山口小学校を平成26年度に統合することとし、野田小学校については、平成29年度までは統合を行わず、その後の児童数の変動や教育ニーズの変化等により統合の時期を決定するものとする。

ア 年次計画（学校統合の流れ）

加津佐ブロックの学校統合の流れを、以下に示す。

①基本スケジュール

平成24年度			平成25年度		平成26年度
計画説明会等の開催	地域関係者等との協議	統合準備組織の設置	統合準備委員会の開催(随時)	閉校・統合記念行事の開催	(3校統合)

②学校統合の流れ

加津佐ブロック	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	加津佐東小[185]	加津佐東小[177]	加津佐東小[185]	加津佐東小[176]	加津佐東小[162]	加津佐東小[139]
	津波見小[15]	津波見小[14]				
	山口小[12]	山口小[11]	野田小[79]	野田小[81]	野田小[78]	野田小[75]
野田小[83]	野田小[81]					

注) 表内の括弧[]書きは児童数である。

イ 学校統合後の児童数と学級数

加津佐東小学校に津波見小学校と山口小学校を統合した後の児童数と学級数(普通学級)の編制は、以下のようになる。

○加津佐東・津波見・山口小学校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数								学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
H26	19	33	31	39	30	33	185	1	1	1	1	1	1	6	
H27	24	19	33	31	39	30	176	1	1	1	1	1	1	6	
H28	16	24	19	33	31	39	162	1	1	1	1	1	2	7	
H29	16	16	24	19	33	31	139	1	1	1	1	1	1	6	

(2) 南有馬ブロック

南有馬ブロックの小学校は、南有馬小学校、吉川小学校、白木野小学校、古園小学校及び梅谷小学校の5校である。

平成24年度において、南有馬小学校を除く他の4校は複式学級を有しており、今後児童数の大幅な減少は見られないものの、児童数が50人を下回る極小規模校となっている。

特に、梅谷小学校は、一学級に2人という極めて少人数の複式学級が存在し、平成25年度以降の児童数は10人以下になってしまう。

また、南有馬ブロック全体の児童数を見ると、平成24年度の児童数“220人”が5年後の29年度時点では“231人”になり、児童数においては若干の増加が見込まれるものの、南有馬小学校を含め、5校とも少人数の学級編制となっており、可能な限り早めの時期の学校統合が必要な段階にあると判断されるところである。

しかしながら、これまで基本方針や統合計画骨子案に関する説明を学校別に行ってはきたが、学校、保護者及び地域にとっての統合の在り方や伝統行事等の取扱いなどについては、統合の時期を明確に設定した上で、関係者等との協議・検討を今後も引き続き行っていく必要がある。

よって、これらの実状を総合的に勘案し、南有馬ブロックにおいては、南有馬小学校を拠点校に他の4校（吉川小学校、白木野小学校、古園小学校、梅谷小学校）を平成27年度に統合し、南有馬小学校の1校とする。

なお、梅谷小学校及び古園小学校の児童については、拠点校となる南有馬小学校よりも、それぞれ加津佐東小学校及び有馬小学校が近距離に位置する場合もあることから、通学区域変更の願い出等があった場合は柔軟に対応していくものとする。

ア 年次計画（学校統合の流れ）

南有馬ブロックの学校統合の流れを、以下に示す。

①基本スケジュール

平成24年度	平成25年度		平成26年度		平成27年度
計画説明会等の開催	地域関係者等との協議	統合準備組織の設置	統合準備委員会の開催(随時)	閉校・統合記念行事の開催	(全校統合)

②学校統合の流れ

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
南有馬ブロック	南有馬小[83]	南有馬小[79]	南有馬小[79]	南有馬小 [222]	南有馬小 [222]	南有馬小 [231]
	吉川小[53]	吉川小[50]	吉川小[50]			
	白木野小[35]	白木野小[34]	白木野小[38]			
	古園小[37]	古園小[34]	古園小[37]			
	梅谷小[12]	梅谷小[10]	梅谷小[7]			

注) 表内の括弧[]書きは児童数である。

イ 学校統合後の児童数と学級数

南有馬ブロック全校を統合した後の児童数と学級数(普通学級)の編制は、以下のようになる。

○南有馬小学校

(単位：人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H27	53	43	30	34	31	31	222	2	2	1	1	1	1	8
H28	31	53	43	30	34	31	222	2	2	2	1	1	1	9
H29	40	31	53	43	30	34	231	2	1	2	2	1	1	9

(3) 西有家ブロック

西有家ブロックの小学校は、西有家小学校、龍石小学校、慈恩寺小学校、長野小学校、長野小学校塔ノ坂分校及び見岳小学校の6校である。

平成24年度において、西有家小学校を除く5校は、少人数の複式学級を有しており、児童数が50人を下回る極小規模校となっている。

特に、長野小学校塔ノ坂分校は、児童数の減少が極めて深刻であり、全学年制の学校でありながら平成24年度の児童数は4名、さらに27年度からは児童数が1人になってしまうことから、早急な対応が必要となっている。

また、西有家ブロック全体の児童数では、平成24年度の児童数“416人”に対して29年度の児童数は“390人”(5年間で26人の減)と緩やかな減少傾向にはあるものの、西有家小学校を除く5校は、今後とも少人数の学級編制が続くことになるため、可能な限り早めの段階での「全校統合」が理想的な統合形態であると判断されることである。

しかしながら、これまで基本方針や統合計画骨子案に関する説明を学校別に行ってはきたが、学校、保護者及び地域にとっての統合の在り方や学校活動・地域行事等の取扱いなどについては、統合の時期を明確に設定した上で、関係者等との協議・検討を今後も引き続き行っていく必要がある。

よって、これらの実状を総合的に勘案し、西有家ブロックにおいては、長野小学校(本校)に長野小学校塔ノ坂分校を平成25年度に併合し、次の段階として、西有家小学校を拠点校に他の4校(龍石小学校、慈恩寺小学校、長野小学校、見岳小学校)を平成28年度に統合して西有家小学校の1校とする。

ア 年次計画(学校統合の流れ)

西有家ブロックの学校統合(本校併合)の流れを、以下に示す。

①基本スケジュール

平成24年度	平成25年度	平成26年度		平成27年度		平成28年度
計画説明会等の開催	地域説明会等の開催	地域関係者等との協議	統合準備組織の設置	統合準備委員会の開催	閉校・統合記念行事	(全校統合)

注) 長野小学校塔ノ坂分校については、平成24年度中に準備組織を設置して本校併合を進める。

②学校統合(本校併合)の流れ

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
西有家ブロック	西有家小[250]	西有家小[249]	西有家小[234]	西有家小[240]	西有家小 [397]	西有家小 [390]
	龍石小[46]	龍石小[46]	龍石小[41]	龍石小[46]		
	慈恩寺小[28]	慈恩寺小[30]	慈恩寺小[27]	慈恩寺小[27]		
	長野小[48]	長野小[50]	長野小[45]	長野小[44]		
	塔ノ坂分校[4]					
見岳小[40]	見岳小[39]	見岳小[39]	見岳小[37]			

注) 表内の括弧[]書きは児童数である。

イ 学校統合後の児童数と学級数

西有家ブロック全校を統合した後の児童数と学級数(普通学級)の編制は、以下のようになる。

○西有家小学校

(単位:人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数(普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H28	59	71	51	74	74	68	397	2	3	2	2	2	2	13
H29	61	59	71	51	74	74	390	3	2	2	2	2	3	14

(4) 有家ブロック

有家ブロックの小学校は、有家小学校、蒲河小学校、新切小学校、堂崎小学校及び堂崎小学校木場分校の5校である。

平成24年度において、有家小学校と蒲河小学校は複式学級を有していないが、他の3校は複式学級を有しており、25年度からは蒲河小学校も複式学級編制になる。

また、各学校の児童数を見ると、有家小学校については今後も230人前後の児童数が維持されるが、他の4校は、今後の5年間で大幅な児童数の減少(平均19.7%減)が見込まれており、これに伴い、将来的には少人数の複式学級編制が続くことになる。

そのため、早い段階での学校統合が望ましいところであるが、ブロック別の学校統合の優先順位としては、各学校の児童数の規模及び複式学級の現存数から、加津佐ブロック、南有馬ブロック、西有家ブロックに続く順位として、関係者等との協議・検討を今後も引き続き行っていく必要がある。

なお、堂崎小学校木場分校については、堂崎小学校(本校)の校舎を平成25年度末までに建て替えることから、これに合わせて分校の本校併合を進めることが、計画的かつ現状に即した適正規模・適正配置化の進め方であると判断される。

よって、これらの実状を総合的に勘案し、有家ブロックにおいては、堂崎小学校(本校)に堂崎小学校木場分校を平成26年度に併合し、蒲河小学校と新切小学校については、平成29年度を目標に、最も規模の大きい有家小学校への統合を進めるものとする。

ア 年次計画(学校統合の流れ)

有家ブロックの学校統合(本校併合)の流れを、以下に示す。

①基本スケジュール

平成24年度	平成25・26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度
計画説明会等の開催	地域説明会等の開催	地域関係者等との協議	統合準備組織の設置	統合準備委員会の開催	閉校・統合記念行事	(3校統合)

注) 堂崎小学校木場分校については、平成25年度中に準備組織を設置して本校併合を進める。

②学校統合(本校併合)の流れ

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
有家ブロック	有家小[228]	有家小[223]	有家小[241]	有家小[229]	有家小[229]	有家小[316]
	蒲河小[55]	蒲河小[57]	蒲河小[52]	蒲河小[51]	蒲河小[45]	
	新切小[67]	新切小[59]	新切小[54]	新切小[48]	新切小[48]	
	堂崎小[90]	堂崎小[88]	堂崎小[99]	堂崎小[87]	堂崎小[90]	堂崎小[94]
	木場分校[17]	木場分校[19]				

注) 表内の括弧[]書きは児童数である。

イ 学校統合(本校併合)後の児童数と学級数

有家ブロックの学校統合後の児童数と学級数(普通学級)の編制は、以下のようになる。

①有家小学校

(単位:人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H29	47	45	51	57	52	64	316	2	2	2	2	2	2	12

②堂崎小学校

(単位:人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H26	15	23	8	17	11	25	99	1	1	1	1	1	1	6
H27	13	15	23	8	17	11	87	1	1	1	1	1	1	6
H28	14	13	15	23	8	17	90	1	1	1	1	1	1	6
H29	21	14	13	15	23	8	94	1	1	1	1	1	1	6

(5) 布津ブロック

布津ブロックの小学校は、布津小学校、布津小学校第一分校、布津小学校第二分校及び飯野小学校の4校である。

平成 24 年度において、布津小学校と飯野小学校は複式学級を有していないが、他の2分校は少人数の複式学級編制となっており、26 年度からは飯野小学校も複式学級が存在することになる。

また、各学校の児童数を見ると、布津小学校は今後児童数の増加が見込まれるものの、他の3校については、今後の5年間で大幅な児童数の減少(平均 37.0%減)が見込まれており、将来的にも少人数の複式学級編制が続くことになる。

そのため、布津ブロックにおいても学校統合及び分校の本校併合を計画的に進めていく必要がある、特に、布津小学校第一分校及び第二分校は、全学年制ではなくそれぞれ3年生、2年生まで在学の極小規模校となっていることから、児童が成長の早い段階から同学年の児童と切磋琢磨する環境を整えるためには、分校の本校併合の時期を明確に設定した上で、学校、保護者及び地域との協議などを進めていかなければならない。

しかしながら、飯野小学校については、現段階において複式学級を有しておらず、基本方針では平成 29 年度以降に検討することとしており、ブロック別の学校統合の優先順位からしても、今後の学校環境の変化等を見ながら学校統合の時期を決定すべきであると判断されることである。

よって、これらの実状を総合的に勘案し、布津ブロックにおいては、布津小学校(本校)に布津小学校第一分校及び第二分校を平成 28 年度に併合することとし、飯野小学校については、複式学級を有した時点でその後の児童数の変動や保護者・地域の意見等を考慮し、再度検討を加えるものとする。

なお、分校の本校併合において、平成 28 年度までに学校、保護者及び地域との協議・調整等の進展が図られたならば、順次本校に併合するものとする。

ア 年次計画 (学校統合の流れ)

布津ブロックの学校統合(本校併合)の流れを、以下に示す。

①基本スケジュール(本校併合)

平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度
計画説明会等の開催	地域説明会等の開催	地域関係者等との協議	閉校準備組織の設置	閉校準備協議会の開催	閉校・併合記念行事	(本校併合)

②学校統合(本校併合)の流れ

布津ブロック	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
	布津小[129]	布津小[131]	布津小[135]	布津小[136]	布津小[163]	布津小[163]
	第一分校[20]	第一分校[15]	第一分校[20]	第一分校[15]		
	第二分校[8]	第二分校[11]	第二分校[10]	第二分校[10]		
	飯野小[72]	飯野小[69]	飯野小[61]	飯野小[57]	飯野小[53]	飯野小[48]

注) 表内の括弧[]書きは児童数である。

イ 学校統合(本校併合)後の児童数及び学級数

布津小学校(本校)に布津小学校第一分校及び第二分校を併合した後の児童数と学級数(普通学級)の編制は、以下のようになる。

○布津小学校

(単位: 人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H28	25	21	31	35	31	20	163	1	1	1	1	1	1	6
H29	20	25	21	31	35	31	163	1	1	1	1	1	1	6

(6) 深江ブロック

深江ブロックの小学校は、深江小学校、深江小学校馬場分校、深江小学校諏訪分校、小林小学校及び大野木場小学校の5校である。

平成24年度において、全ての学校で複式学級を有しておらず、29年度までの児童数においても、全ての学校で複式学級を有することはない。

また、深江ブロック全体の児童数を見ると、平成24年度の児童数は“475人”であるが、29年度の児童数は“400人”と今後の5年間で75人の減少(15.8%減)が見込まれるものの、全校とも実行計画の計画期間内においては一定の児童数が確保される見込みであり、これまでの統合説明会等における地域関係者等の意向としても、実行計画の目標年度までに学校統合をすべき必要性は低いとの意見が多いところである。

よって、これらの実状を総合的に勘案し、深江ブロックにおいては、平成29年度までは学校統合を行わず、その後の児童数の変動や教育ニーズの変化等により学校統合の時期を検討していくものとする。

なお、深江小学校馬場分校及び諏訪分校については、児童が成長の早い段階から同学年の児童と切磋琢磨する環境を整える必要があることから、平成29年度を目標に深江小学校(本校)への併合を進めることとする。

ただし、平成29年度までに学校、保護者及び地域との協議・調整等の進展が図られたならば、順次本校に併合するものとする。

ア 年次計画(学校統合の流れ)

深江ブロックの学校統合(本校併合)の流れを、以下に示す。

①基本スケジュール(本校併合)

平成24年度	平成25・26年度	平成27年度		平成28年度		平成29年度
計画説明会等の開催	地域説明会等の開催(適時)	関係者等との協議	閉校準備組織の設置	閉校準備協議会の開催	閉校・併合記念行事	(本校併合)

②学校統合(本校併合)の流れ

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
深江ブロック	深江小[218]	深江小[209]	深江小[207]	深江小[176]	深江小[181]	深江小[198]	
	馬場分校[31]	馬場分校[25]	馬場分校[30]	馬場分校[36]	馬場分校[31]		
	諏訪分校[4]	諏訪分校[6]	諏訪分校[6]	諏訪分校[6]	諏訪分校[5]		
	小林小[109]	小林小[101]	小林小[100]	小林小[95]	小林小[94]		小林小[81]
	大野木場小[113]	大野木場小[116]	大野木場小[113]	大野木場小[109]	大野木場小[114]		大野木場小[121]

注) 表内の括弧[]書きは児童数である。

イ 学校統合(本校併合)後の児童数及び学級数

深江小学校(本校)に深江小学校馬場分校及び諏訪分校を併合した後の児童数と学級数(普通学級)の編制は、以下のようになる。

○深江小学校

(単位:人・学級)

年 度	児 童 数							学 級 数 (普通学級)						
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	合計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
H29	30	32	37	36	29	34	198	1	1	1	1	1	1	6

### 第3 適正規模・適正配置の進め方

#### 1 組織等の設置

本市の小学校統合を学校、保護者及び地域と協働して円滑に進めていくため、次の組織を設置するものとする。

##### (1) ブロック別学校統合準備委員会の設置

学校は、教育の場のみならず、地域の象徴として多くの住民に親しまれており、学校及び地域の実情に応じた学校統合を的確に進めていくためには、学校と保護者はもとより、地域関係者等の事業参画が不可欠である。

また、学校統合の基本事項はこの実行計画にまとめられたものの、各ブロックにおける学校統合の実行に当たっては、地域が抱えるさまざまな課題や問題を解決するための最善の方策を見出していかなければならない。

そのため、今後の統合準備活動の協議の他、統合後の通学手段や廃校跡地等の利活用策など、さまざまな課題や問題を関係者相互で検討・協議していくため、ブロック別に『学校統合準備委員会（以下「準備委員会」という。）』を設置する。

なお、準備委員会の構成や所掌事項等の詳細については、各ブロックの学校統合の実行に際して策定するブロック別の学校統合実施計画（以下「ブロック別実施計画」という。）において定めるものとする。

##### (2) 閉校準備協議会の設置

学校には、それぞれの学校及び地域で引き継がれてきた伝統と歴史があり、学校統合で閉校となる学校においては、閉校記念式典の開催など、学校、保護者及び地域関係者相互で閉校の準備を進めていく必要がある。

そのため、閉校となる校区においては、学校単位で「閉校準備協議会」を組織するものとする。

なお、その協議会の構成や活動内容等の詳細については、ブロック別実施計画において定めるものとする。

#### 2 学校統合に関する共通事項

この実行計画の期間内において、ブロック全体に係る学校統合に関する共通事項は次のとおりとする。

##### (1) 統合における学校名等

学校統合において、学校名を変更した方が良いと判断されるときは、校章、校旗及び校歌等を含め、準備委員会で検討・協議し、それぞれの案が決定されたならば市教育委員会において審議するものとする。

##### (2) 拠点校の施設整備

実行計画の期間内に行う学校統合においては、新校舎及び体育館等の建設は想定していない。

そのため、学校統合に当たっては、既存の校舎を活用することとし、必要に応じて拠点校の校舎及び体育館等の施設整備を行うものとする。

##### (3) 通学手段の整備

学校統合においては、拠点校を除き、統合する学校の多くの児童は遠距離通学となることから、通学負担の軽減と登下校時の安全確保を図る必要がある。

そのため、学校統合により遠距離通学となる児童の通学手段は、原則としてスクールバスの運行とし、その区域設定や運行形態等については、準備委員会において検討・協議するものとする。

なお、スクールバスの運行便数については、登校時は1便、下校時は2便の運行を基本とし、放課後社会体育活動後の下校手段については保護者対応とする。

#### (4) 事前交流事業の実施

学校統合においては、拠点校となる学校の児童を含め、全ての児童に学校統合に関する相互の共通意識を芽生えさせる必要があり、児童が学校統合による環境の変化等に対応できるよう、事前の交流学習や交流活動を実施するものとする。

なお、事前交流事業による交流学習や交流活動等は、学校統合前の1年間において複数回は実施するものとし、その時期や内容については、市教育委員会学校教育課と各学校の相互で企画立案し、その案を基に準備委員会において検討・協議するものとする。

#### (5) 学校活動・伝統行事の継承

学校には、それぞれの学校で培われてきた特色ある活動や地域で引き継がれてきた伝統行事等もあり、それらの活動等は、学校教育の一環としてのみならず、郷土文化・芸術の保存の面からも継承していく必要がある。

なお、これらの学校活動や伝統行事等の明確な取扱い等については、準備委員会において、学校統合後も可能な限り継続する方向で検討・協議していくものとする。

#### (6) 教職員の配置

学校統合後における児童の不安や戸惑いなどに対応できるのは各学校の教職員であり、学校統合後の教職員の配置は重要視しなければならない。

教職員の配置は長崎県教育委員会に委ねられるものであるが、市教育委員会としては、教育環境の保持と更なる充実を図るため、学校統合後の教諭等の配置増（加配措置）はもとより、養護教諭・事務職員等の配置の充実を県に対して要望していくものとする。

#### (7) 廃校跡地の利活用

学校は、地域コミュニティの拠点としても地域住民に親しまれている施設であり、立地条件によっては地域に限定した用途に供することが望ましい場合もあることから、廃校跡地の利活用については、地域や学校関係者等の要望や意見も聴き取る必要があると判断される。

このことから、廃校跡地の利活用については、市と市教育委員会のみならず、各ブロックに設置する準備委員会においても今後の利活用策の検討を行い、その結果を市教育委員会で「学校跡地等利活用策検討報告書（仮称）」として取りまとめ、これを市に提出するものとする。

なお、この報告書は、あくまで地域関係者等の意見を集約して市に要望するものである。

### 3 ブロック別学校統合実施計画の策定

各ブロックの学校統合の実行に際しては、学校、保護者及び各地域の住民に事業の内容が理解され、事業実施の協力が得られるよう、ブロック別の学校統合実施計画を策定するものとする。

#### (1) 計画の必要性

この実行計画では、ブロック別の基本的な実行方針と学校統合に関する全体的な共通事項は定めているが、各ブロックにおける学校統合を学校、保護者及び地域と協働して進めていくためには、各ブロックにおける学校統合の具体的な実施方法や活動スケジュールなどを取りまとめ、それを基にして学校、保護者及び地域への統合説明会や関係者等との協議などを行っていく必要がある。

また、学校統合は、地域の実情に応じて円滑かつ的確に行っていかなければならないため、活動内容等の詳細を明確に整理したブロック別実施計画の策定を要するものである。

#### (2) 計画の内容

ブロック別実施計画の策定においては、次に掲げる事項について詳細を取りまとめ、策定時における正確なデータや具体的な取組などを示すものとする。

ア) 小学校の現状と今後の推移（学校数、児童数、学級編制・学級数、教職員数など）

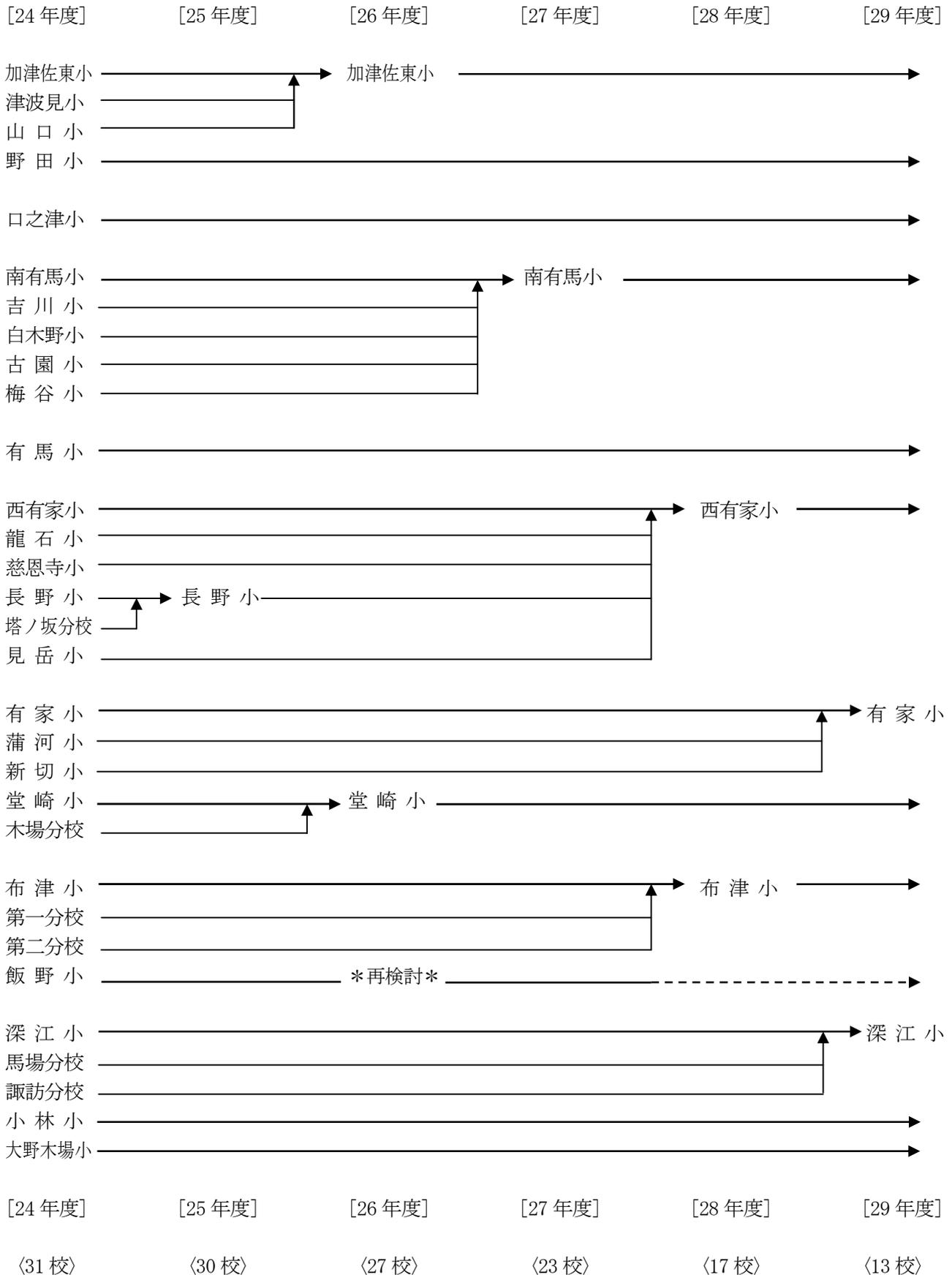
イ) 学校統合の実施方針（学校統合の形態、学校統合の時期、数値目標など）

ウ) 学校統合の具体的な進め方（スケジュール、準備組織の設置、例規整備、記念式典など）

エ) 諸課題の取扱い（通学手段の整備、本校の施設整備、事前交流事業、学校活動や伝統行事等の継承、廃校跡地の利活用、学校統合に要する経費など）

<資料>

資料1. 小学校統合の流れ



資料2. 平成29年4月1日時点の学校数、児童数及び学級数（推定）

（単位：人・学級）

児童数等 学校名	児 童 数							学 級 数 (普通学級)							
	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	計	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	
加津佐東小学校	16	16	24	19	33	31	139	1	1	1	1	1	1	6	
野田小学校	9	12	15	17	12	10	75	1	1	1	1	1	1	6	
口之津小学校	31	32	33	34	33	35	198	2	1	1	1	1	1	7	
南有馬小学校	40	31	53	43	30	34	231	2	1	2	2	1	1	9	
有馬小学校	26	25	23	25	26	37	162	1	1	1	1	1	2	7	
西有家小学校	61	59	71	51	74	74	390	3	2	2	2	2	3	14	
有家小学校	47	45	51	57	52	64	316	2	2	2	2	2	2	12	
堂崎小学校	21	14	13	15	23	8	94	1	1	1	1	1	1	6	
布津小学校	20	25	21	31	35	31	163	1	1	1	1	1	1	6	
飯野小学校	10	5	6	12	9	6	48	1	〈1〉		1	〈1〉		4	
深江小学校	30	32	37	36	29	34	198	1	1	1	1	1	1	6	
小林小学校	10	16	12	16	16	11	81	1	1	1	1	1	1	6	
大野木場小学校	17	28	12	21	22	21	121	1	1	1	1	1	1	6	
計 (13校)	338	340	371	377	394	396	2,216								95

資料3. 小学校の位置（平成24年度）

学 校 の 名 称	位 置
南島原市立加津佐東小学校	南島原市加津佐町己3325番地
南島原市立野田小学校	南島原市加津佐町乙1172番地
南島原市立津波見小学校	南島原市加津佐町甲3761番地
南島原市立山口小学校	南島原市加津佐町戊1208番地
南島原市立口之津小学校	南島原市口之津町丁4455番地 3
南島原市立南有馬小学校	南島原市南有馬町乙991番地
南島原市立吉川小学校	南島原市南有馬町甲612番地
南島原市立白木野小学校	南島原市南有馬町丙1795番地
南島原市立古園小学校	南島原市南有馬町己234番地 1
南島原市立梅谷小学校	南島原市南有馬町己2871番地 2
南島原市立有馬小学校	南島原市北有馬町丁52番地
南島原市立西有家小学校	南島原市西有家町須川33番地 1
南島原市立龍石小学校	南島原市西有家町龍石795番地 4
南島原市立慈恩寺小学校	南島原市西有家町慈恩寺1373番地第 1
南島原市立長野小学校	南島原市西有家町長野1776番地
南島原市立長野小学校塔ノ坂分校	南島原市西有家町長野4421番地
南島原市立見岳小学校	南島原市西有家町見岳1116番地
南島原市立有家小学校	南島原市有家町久保180番地
南島原市立蒲河小学校	南島原市有家町蒲河1641番地
南島原市立新切小学校	南島原市有家町尾上3040番地 3
南島原市立堂崎小学校	南島原市有家町大苑720番地
南島原市立堂崎小学校木場分校	南島原市有家町原尾2699番地
南島原市立布津小学校	南島原市布津町乙1676番地第 1
南島原市立布津小学校第一分校	南島原市布津町甲381番地 1
南島原市立布津小学校第二分校	南島原市布津町丙825番地 1
南島原市立飯野小学校	南島原市布津町丙2365番地
南島原市立深江小学校	南島原市深江町丁3168番地
南島原市立深江小学校馬場分校	南島原市深江町丙751番地
南島原市立深江小学校諏訪分校	南島原市深江町丁5340番地
南島原市立小林小学校	南島原市深江町乙1080番地
南島原市立大野木場小学校	南島原市深江町戊3243番地

※南島原市立学校設置条例（平成18年条例第71号）の別表第1より

資料4. 小学校の通学区域 (平成24年度)

学 校 名	学 年	通 学 区 域
南島原市立加津佐東小学校	全学年	本岩戸、岩戸町、堀川町、東岩戸町、酔の木、町原、道原、檜山、蓮岳、六田、東上町、西上町、入船町、大和町、愛宕町、本仲町、本町、汐見町、東下方、浜町、西浜町、今浜町、東浜町、西宮町、宮ノ町、東宮町、女島町、境町、八ノ久保、北ヶ峰、内野、立木、伊場、栄原、出水、崎谷、路木
南島原市立野田小学校	全学年	西串、東串、小松、花房、西越崎、東越崎、辻、上里、旭団地、下里、泉が丘
南島原市立津波見小学校	全学年	八石、里、山内、西平、権田
南島原市立山口小学校	全学年	上登龍、後登龍、山口、鍛冶屋敷
南島原市立口之津小学校	全学年	口之津町内全域
南島原市立南有馬小学校	全学年	南有馬町乙1番地～乙3263番地 南有馬町乙3313番地～乙3362番地 南有馬町乙3377番地～乙3386番地 南有馬町乙3506番地～乙4734番地 南有馬町丁1番地1～丁1728番地
南島原市立吉川小学校	全学年	南有馬町甲1番地～甲4194番地 南有馬町甲4227番地～甲7807番地 南有馬町甲7821番地～甲7824番地 南有馬町甲7833番地～甲7836番地
南島原市立白木野小学校	全学年	南有馬町丙1番地～丙946番地 南有馬町丙1007番地～丙5277番地 南有馬町乙3264番地～乙3312番地 南有馬町乙3363番地～乙3376番地 南有馬町乙3387番地～乙3505番地 南有馬町甲4195番地～甲4226番地 南有馬町甲7808番地～甲7820番地 南有馬町甲7825番地～甲7832番地
南島原市立古園小学校	全学年	南有馬町丙947番地～丙1006番地 南有馬町戊2番地～戊2076番地 南有馬町己1番地1～己2072番地
南島原市立梅谷小学校	全学年	南有馬町己2073番地～己4934番地4
南島原市立有馬小学校	全学年	北有馬町内全域
南島原市立西有家小学校	全学年	須川名、里坊名全域
南島原市立龍石小学校	全学年	龍石名 (堀戸、加倉を除く。)
南島原市立慈恩寺小学校	全学年	慈恩寺名 (落ノ上を含む。)
南島原市立長野小学校	全学年	長野名 (堀戸、加倉を含み、落ノ上、塔ノ坂を除く。)
南島原市立長野小学校塔ノ坂分校	全学年	塔ノ坂全域
南島原市立見岳小学校	全学年	見岳名全域

南島原市立有家小学校	全学年	久保名、小川名、中須川名、山川名（白崎を除く。）、尾上名（長田、桜馬場、上尾上、下尾上に限る。）
南島原市立蒲河小学校	全学年	蒲河名（蛇田を除く。）、山川名（白崎に限る。）
南島原市立新切小学校	全学年	尾上名（長田、桜馬場、上尾上、下尾上を除く。）、蒲河名（蛇田に限る。）
南島原市立堂崎小学校	1～3年生	大苑名、石田名、原尾名（木場、上六郎木、下六郎木、東谷、上藤原、下藤原、三又を除く。）
	4～6年生	大苑名、石田名、原尾名
南島原市立堂崎小学校木場分校	1～3年生	原尾名（木場、上六郎木、下六郎木、東谷、上藤原、下藤原、三又に限る。）
南島原市立布津小学校	1、2年生	貝崎第1、貝崎第2、貝崎浜第1、貝崎浜第2、尾篠、中通第1、中通第2、湯田第1、湯田第2、大崎、植松、新田、三本松
	3年生	貝崎第1、貝崎第2、貝崎浜第1、貝崎浜第2、尾篠、中通第1、中通第2、湯田第1、湯田第2、大崎、植松、新田、三本松、蔭平、木場、向木場、八重坂
	4～6年生	野田第1、野田第2、野田第3、野田第4、丸山、寺田、貝崎第1、貝崎第2、貝崎浜第1、貝崎浜第2、尾篠、中通第1、中通第2、湯田第1、湯田第2、大崎、植松、新田、三本松、蔭平、木場、向木場、八重坂
南島原市立布津小学校第一分校	1～3年生	野田第1、野田第2、野田第3、野田第4、丸山、寺田
南島原市立布津小学校第二分校	1、2年生	蔭平、木場、向木場、八重坂
南島原市立飯野小学校	全学年	柳、天ヶ瀬第1、天ヶ瀬第2、坂下、飯野、潮入崎、高塩第1、高塩第2、平之坂
南島原市立深江小学校	1年生	下市場、上市場、大木、芝所、若葉台、松山、中原
	2年生	下市場、上市場、大木、芝所、若葉台、松山、中原、下瀬野、中瀬野、上瀬野、柴原、川原端
	3～6年生	立横馬場、川原、八立、本町、上町、折口、須ノ崎、川端、天ノ木、中島、船川、下市場、上市場、大木、芝所、若葉台、松山、中原、下瀬野、中瀬野、上瀬野、柴原、川原端
南島原市立深江小学校馬場分校	1、2年生	立横馬場、川原、八立、本町、上町、折口、須ノ崎、川端、天ノ木、中島、船川
南島原市立深江小学校諏訪分校	1年生	下瀬野、中瀬野、上瀬野、柴原、川原端
南島原市立小林小学校	全学年	出ノ川、中江、末宝、内野、梶木、田中山、兵五郎、板首、畦津
南島原市立大野木場小学校	全学年	大野台、下大野木場、中大野木場、上大野木場、新大野木場、大野木場団地、馬場団地

※南島原市立小・中学校の通学区域に関する規則（平成18年教育委員会規則第10号）の別表第1より